

NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の第2回「佐殿の腹」 視聴者はどこに注目したか

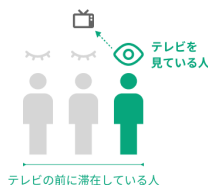
ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンの「視られている量」を測るTVISION INSIGHTS株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下TVISION）は、2022年1月にスタートした『鎌倉殿の13人』の第2回「佐殿の腹」で、視聴者がどのシーンに注目したのかを分析しました。

三谷幸喜さんが脚本を手がけ、小栗旬さんが主演を務める『鎌倉殿の13人』。この大河ドラマは、戦国時代や幕末に比べるとあまり知名度のない、鎌倉時代に焦点をあてた作品です。

第2回「佐殿の腹」は、視聴者にどのように見られていたのでしょうか？
テレビの視聴者の様子を、1分毎の「TVISION推定視聴率」と、「テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合＝注目度※」のグラフで見ました。

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



用語解説 注目度

テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合です。

テレビのコンテンツに、注目している度合いがわかります。

TVISION
INSIGHTS

『鎌倉殿の13人』毎分の注視データで見る、視聴者が注目したシーンとは？

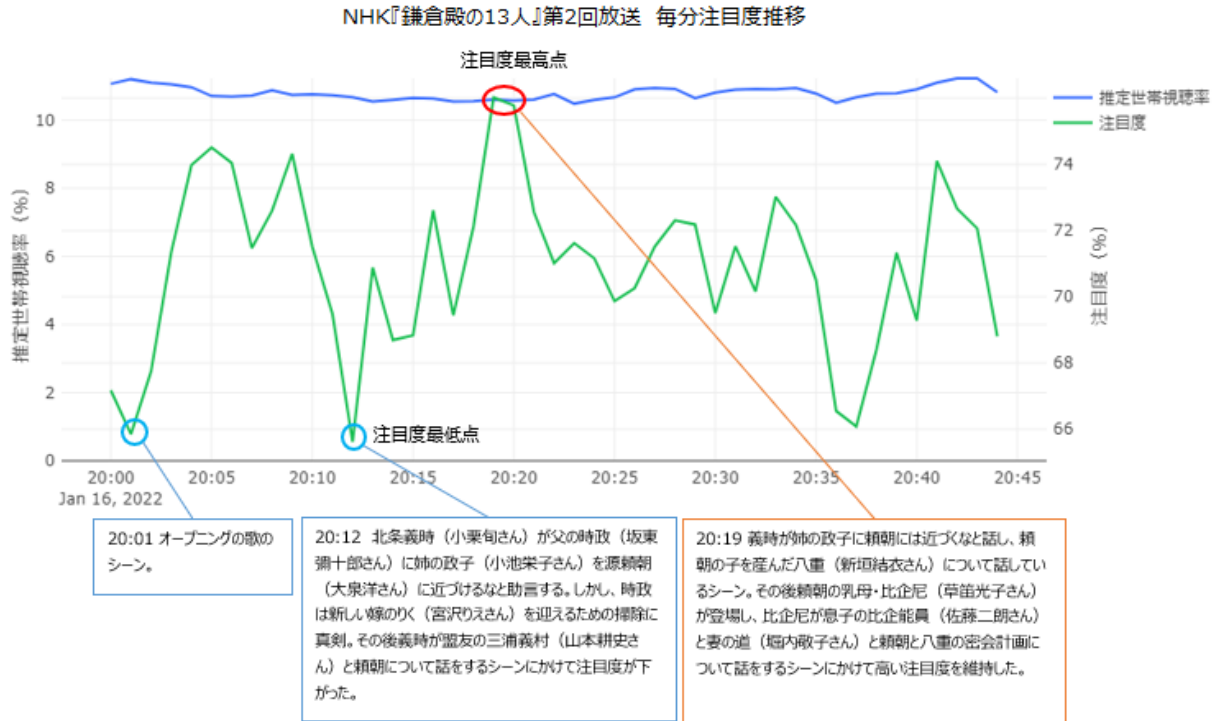
第2回のタイトルは「佐殿の腹」。源頼朝（大泉洋さん）と北条義時（小栗旬さん）の今後の関係が垣間見える回でした。罪人・頼朝を処断しようと兵を率いて迫る伊東祐親（浅野和之さん）。しかし、義時の父・時政（坂東彌十郎さん）が頼朝をかばって対立してしまいます。両勢力が一触即発の状態となる中、平清盛（松平健さん）を後ろ盾に相模の武士団を束ねる大庭景親（國村隼さん）が現れ、事態を収束させました。義時は、この対立の間に姉・政子（小池栄子さん）らの助けを受けて、頼朝を馬の後ろに乗せて逃亡します。そして伊東の追手を振り切った二人は、富士のふもとにいました。第2回は、頼朝の腹のうちが明かされる回となりました。

冒頭に平宗盛（小泉孝太郎さん）が登場し、頼朝と恋仲になった八重（新垣結衣さん）や時政の後妻・りく（宮沢りえさん）の出演など、豪華俳優陣も魅力でした。

毎分での注目度と推定世帯視聴率の推移

日付：2022年1月16日（日）放送

属性：個人全体



一番視聴者に注目されたのは、20:19から20:21ごろにかけてで、注目度は76%でした。義時と姉・政子が会話する場面で、義時の初恋相手である八重のことに触れる、恋愛要素のあるシーンでした。その後、長澤まさみさんのナレーションが続き、頼朝の乳母・**比企尼**（草笛光子さん）の登場シーンまで高い注目度が続きました。

注目度が低かったシーンは、同率で2つありました。一つ目は、冒頭のオープニング中。二つ目は、義時とその父・時政がコミカルに会話するシーンから画面が少し暗くなり、義時の盟友である**三浦義村**（山本耕史さん）と頼朝の話をする場面へ切り替わる部分でした。

このように、TVISIONでは、視聴者のテレビ目線を番組では毎分、CMでは毎秒でデータを取得しております。今後も注目のテレビ番組やCMの分析を行って参ります。

※2021年の年間の、プライム帯（19-23時）におけるドラマジャンルの平均注目度は63%

<本件に関する問い合わせ先>

TVISION INSIGHTS株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階

E-mail info@tvisioninsights.com

Tel (担当直通) 050-5468-2785

【TVISION INSIGHTS株式会社について】

TVISION INSIGHTS株式会社は人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。

ご家庭のテレビに、TVISIONが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、きちんと見ているか」というTVISION独自のアテンションデータを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組を計測しています。TVISIONでは「新しいデータによってメディアマーケットを圧倒的に進化させる」というミッションのもと、テレビの価値をアテンションデータによって顕在化しています。